

## 前理事長 深谷謙二先生の御逝去を悼む

日本獣医史学会理事長 小佐々 学



日本獣医史学会前理事長の深谷謙二先生が、平成26年11月28日に88歳の生涯を終えて他界されました。先生は日本獣医史学会創立3年後の昭和50年からの会員で、理事、常務理事を経て平成19年から22年まで第5代会長を務められ、退任後は顧問に就任されました。若手会員からは「学会の生き字引」と呼ばれるほど信頼が厚く、長年にわたって日本獣医史学会の発展に指導的役割を果たされました。特に、平成16年の『日本獣医史学雑誌・41号』には「日本獣医史学会一設立の経緯と30周年の歩み」を御寄稿頂き、学会設立当時からの歴史を後世に伝える貴重な記録を執筆して頂きました。

深谷先生は、大正15年に大阪市で御出生、昭和20年に都立高等学校高等科(理3)を卒業され、昭和23年3月に東京大学農学部畜産獣医学科を卒業後に(株)朝倉書店に入社されました。昭和50年に同社退社後に(株)文永堂に入社され、編集企画部長などを務められて平成3年に文永堂出版(株)を退社されました。その後は(有)グロースインターナショナル顧問などを歴任されましたが、出版物の編集という御経歴から顧問になられても、昨年2月発行の学会誌51号まで毎年最終校正に御参加頂くなど、誠実・高潔な人柄で後進の指導と学会の発展を支えて下さいました。

深谷先生の祖父である深谷敬一先生は、徳川家直参の深谷家次男として江戸に生まれ、幼少時に親戚の養子となって青山敬一として駒場農学校獣医科(東京大学獣医学科の前身)の第一期生としてマックブライドなどの教えを受け、卒業後に陸軍に奉職、兄の逝去により深谷家に帰家されました。駒場農学校時代には、日本で初めて犬糸状虫の心臓寄生を青山敬一の名で報告したことで知られています。その後、陸軍獣医監、麻布獣医学校(現・麻布大学)第9代校長や、東京帝国大学農科大学などで教鞭を執り獣医学の発展に貢献されました。

深谷先生は、四水会など中学・高校・大学関係の幹事や、高齢者の体操会「厚健会」副会長など多くの分野で活躍しておられました。

ここに日本獣医史学会の会員を代表して哀悼の意を表しますと共に、心より御冥福をお祈り申し上げます。

---

KOZASA Manabu : Eulogy upon Dr. FUKAYA Kenji